

キャリア支援センター個別調査 調査項目

*今後の連絡の都合上、名前を書いても良いと思われる方はご記入願います。

所属学会		
氏名		
年齢(平成 21 年 4 月)		1 男 2 女
所属		
職名	1.大学院生 2.有給 PD 3.無給 PD 4.所属なし 5.その他()	
任期	年任期の	年目
専門分野(裏面参照)	1 理論・2 実験・3 観測	
博士号取得年	西暦	年
博士課程以降の研究歴・職歴(非常勤歴を含む)・給与の有無		
西暦	年 ~ 年	1 有 2 無
		1 有 2 無
		1 有 2 無
		1 有 2 無
		1 有 2 無

キャリア支援に関する項目

Q1 現在希望する職は何ですか(複数回答可)

1. 現専攻の常勤学術職 2. 現専攻以外の常勤学術職 3. 企業(研究職、研究以外) 4.行政 5.その他()

Q2 常勤学術職を含めた就職活動経験

Q2-1 常勤学術職への公募数、活用したサービス(例:使用した HP、書籍等)

_____回 _____

Q2-2 常勤学術職以外の就職活動

キャリアガイダンス出席経験 1.あり⇒Q2-2-1 へ 2.なし

Q2-2-1 キャリアガイダンス主催機関(複数回答可)

1. 所属機関 2. 所属機関以外の大学、研究所 3. 民間の就職支援機関 4. 特定の企業 5. その他()

Q2-3 民間企業・行政への応募数、活用したサービス(例:使用した HP、書籍等)

_____回 _____

Q3 何歳までに定職に就くことを目標としていますか

1. _____歳 2.制限なし 3.考えていない 4.その他()

Q4 定職に就くために受けた支援は何ですか(例:専門分野別のコーディネート等)

Q5 キャリア変更を考えたことがありますか(例:学術職→企業、専門分野の変更等)

- 1.あり⇒Q5-1 へ 2.なし

理由 _____ (ある、なしとも回答)

Q5-1 キャリア変更への障壁を感じたことがありますか

- 1.あり⇒Q5-2 へ 2.なし

Q5-2 障壁要因は何だと思いますか

記入欄が足りない場合は裏頁に記入してください。

『専攻分野一覧』 科学研究費補助金（科研費）の分類から抜粋

①天文学

②素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理

（素粒子物理、核物理、宇宙線、加速器、粒子測定技術、宇宙物理、相対論・重力波）

③物性Ⅰ

（半導体、メゾスコピック系・局在、光物性、表面・界面、結晶成長、誘導体、格子欠損、X線・粒子線、フォノン物性）

④物性Ⅱ

（磁性、磁気共鳴、強相関係、高温超伝導、金属、超低温・超伝導、量子液体・固体、分子性固体・有機導体）

⑤数理物理・物性基礎

（統計物理学、物性基礎論、数理物理、可積分系、非平衡・非線形物理学、応用数学、力学、液体物理、不規則系、計算物理学）

⑥原子・分子・量子エレクトロニクス・プラズマ

（原子・分子、量子エレクトロニクス、量子情報、放射線、プラズマ、ビーム物理、放電）

⑦生物物理・化学物理

（高分子・液晶、化学物理、生物物理、ソフトマターの物理）

⑧プラズマ科学

⑨その他

追加記入欄・その他

Q _____ について記入

*調査結果は厳重に管理し、キャリア支援活動に利用するとともに、分析結果を日本物理学会キャリア支援センターHP (<http://www.ph-career.org/>) において公開いたします。なお、公表に際しては、個人名や大学ごとの情報が特定されることはありません。

ご協力ありがとうございました。